

第3次羽曳野市子ども読書活動推進計画（案）にかかるパブリックコメント結果

NO.	パブリックコメントへの意見概要 提出8名（郵送1、持参2、メール5）	市の考え方
2P 第1部 第2章 1 ③ 「図書館での読書活動の推進」について		
1	<p>児童書の冊数については、平成19年度と30年度の数値が記載されているので、増加したことはわかりましたが、その間、どのような推移だったのかはわかりません。</p> <p>児童書の割合、児童の利用登録率、児童書の貸出冊数、学校への団体貸出冊数、広域貸出における児童書の貸出冊数については、第2次計画策定当時の数値も記載されていないので、どれだけ減少・増加したのかも、わかりづらいと思いました。</p> <p>また、第2次計画策定時の数値目標に対しての検証と、第3次計画の数値目標についても述べていただきたいと思います。</p> <p>数値目標の達成がすべてではないと思いますが、数値の変化を検証し、新たな目標を設定していくことで、重点事業とされている事業内容の今後の計画案に具体化していただきたいと思います。</p>	<p>・この間の数値については、「資料」として、推移がわかるように掲載する予定です。なお、計画が対象としている児童等の人口が減少している中で、単純な数値比較が難しい点などに鑑み、第3次計画には「数値目標」は掲げないこととしています。</p> <p>しかし、参考資料としては、計画には基礎数値等を掲載するなどし、毎年の進行管理での検討材料としていきたいと考えています。</p>
3P 第1部 第2章 1 ④ 「学校・園での読書活動の推進」について		
2	<p>全小学校に司書教諭が配置されているのは、羽曳野市の特筆すべき教育の特徴であると考えている。同じ環境を中学でも導入できないものか。</p>	<p>・ご指摘のとおり本市の小学校には、学校司書の配置を進めてまいりました。中学校においても学校図書館の活用は重要であり、今後もその活用を充実していきたいと考えております。そのため、中学校区ごとに学校司書と司書教諭や図書館担当教員間の連携を図り、子どもたちの学びが豊かなものとなるよう取り組んでまいります。</p>

第3次羽曳野市子ども読書活動推進計画（案）にかかるパブリックコメント結果

3	<p>学校司書の配置のない中学校への支援を小学校の学校司書が支援を行うには、本来の業務があり、時間を割くのも難しいですし、中学生の読書推進を考えるならば、本を手渡す人が身近にいるのがいいと思います。また、公共の図書館職員が、学校支援を行うとしても、公共の仕事もあるので、主に担当する職員を配置する必要があるかと思うのですが、いかがでしょうか。</p> <p>今、主体的に問題を考え、解決するアクティブラーニングを取り入れるようになってきていますが、そのためには、学校司書の力が必要ではないかと考えます。</p> <p>中学校に学校司書配置してほしいところですが、市費での配置はむつかしいでしょうか？</p>	<p>・前述のとおり、中学校区での学校図書館の活用の充実を図るために、学校司書、司書教諭の配置を進めているところです。限られた条件下ではありますが、学校図書館が子どもたちの学びの場として、今まで以上に活用できますよう、今後も取り組んでまいりたいと存じます。</p>
5P 第1部 第2章 4 ① 「資料の充実」について		
4	<p>限られた予算の中で、資料を充実させるためにご尽力いただいていることに感謝しています。予算が限られている中での選書はとても重要です。購入した本の回転率を上げる必要があります。</p> <p>その為には、深い知識と経験に基づいた正規の司書職員が不可欠にも拘らず、今の人数では少なすぎます。どうか、新たに正規の司書職員を採用してください</p>	<p>・選書については、日頃よりカウンターでの利用状況なども考慮しながら職員集団（正規職員・嘱託員を問わず）として取り組んでおります。</p> <p>今後も利用される資料を中心に最小限の経費で効果を上げるように選書してまいります。</p>

第3次羽曳野市子ども読書活動推進計画（案）にかかるパブリックコメント結果

5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料費の確保 子供達の読書活動を通じ、健全な育成には根本的な課題です。資料費の確保をお願いします。 ・ 陳腐化した資料の廃棄 見かけの資料の豊富さは逆に、管理費等の無駄遣いになります。また、いかに資料が不足しているかが目に見えてきます。陳腐化した資料の廃棄を積極的にしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厳しい財政状況の中で自治体の組織の一つとして、図書館も例外ではありません。しかしながら、次代を担う子供たちの健全な読書活動を進めるため、一般書と比して児童書の購入費用の削減割合を減らすなどして、できる限りの措置をしておりますのでご理解ください。 ・ 資料の廃棄については、順次実施しております。利用状況をきめ細やかにチェックしながら今後も適切な廃棄をしてまいります。
5P 第1部 第2章 4 ② 「子ども読書推進のための専門員の配置と資質の向上」について		
6	<p>子どもの読書推進のみならず、市民全体への図書館サービスに正規の司書職員の配置は欠くべからざる第一条件です。</p> <p>羽曳野市における正規司書職員の配置数は他市に比べて格段に少ないです。(富田林市・河内長野市の3分の1から4分の1程度の人数です)</p> <p>その数少ない正規職員さんも、数年後には定年を迎えられるようです。小学校への司書配置など、近隣に先駆けて素晴らしい取り組みをして頂いているにもかかわらず、その根幹を支える図書館に正規司書職員が極端に少ないというのは、素晴らしいシステムを作り上げても、それを動かすエンジンがないに等しいと思います。来年度の採用試験で正規司書職員の採用をお願いします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正規職員だけでなく嘱託員等も含めた中で、今後も司書有資格者の適切な配置に努めてまいります。

第3次羽曳野市子ども読書活動推進計画（案）にかかるパブリックコメント結果

7	<ul style="list-style-type: none"> ・専任の学校司書の人員確保 学校司書の専門職員の配置も根本的な問題です。専門の職員が各学校にいないことは問題外です。近隣市に比べてどうなのでしょう？司書職員の増員をお願いします。 ・専門職員、専任の学校司書、専任の職員 この言葉の使い方が良くわかりませんが、羽曳野市に末端の学校司書、図書館司書がおられると思います。 <ul style="list-style-type: none"> イ) この人たちは、全て正規司書職員でしょうか？正規職員で運用する必要があります。正規司書職員の増員、育成をお願いします。 ロ) 末端の学校司書、図書館司書等を取りまとめ、方針、指示の出来たり、各行事に出向き啓もう活動などの出来る正規の専門職的な職員は何人おられるのでしょうか？正規の専門職的な職員の増員をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な教育活動・教育場面がある中、図書館教育については、近隣市町村と比べても、充実した取組みを進めていると自負しています。 ただ、すべての学校に配置できていない点などについては、計画的に進めてまいりたいと思います。 ・「専門職員」はその分野に精通した職員、ここでは学校司書を、「専任の学校司書」は兼務でなく図書館業務のみに携わるものとして表現しています。「専任の職員」は学校司書をさしますが、繰り返しになるためこのように表現しています。 ・イ) 学校司書はすべて嘱託員です。研修等も行い司書業務の遂行については万全を期しています。正規職員での増員等は今のところ考えておりません。 ・ロ) 市立図書館の正規職員は4名のみです。学校図書館支援については他の業務も兼ねながら嘱託員も含めたチームでの対応を行っています。 職員の増員についてはNO.6をご参照ください。
5P 第1部 第2章 4 ③ 「乳幼児を持つ保護者への働きかけ」について		
8	<p>現在の乳幼児サービスは、4か月検診時に配布する資料のみのようです。多忙な乳幼児を持つ家族にとって紙の資料配布だけでは、有益な啓発とはいえません。目の前の人と話しかけてこそ、聞く人の心を動かし、次の行動に繋がると思います。</p> <p>このような場にも司書職員の派遣が大切かと思えます。その段取りをするにも正規の司書職員が必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は健診のスケジュール等の関係から保健師等に資料を配布していただいています。ご指摘の件は重要とは理解していますが、図書館職員の派遣は今のところ難しい状況です。

第3次羽曳野市子ども読書活動推進計画（案）にかかるパブリックコメント結果

9	<p>・ 正規専門職の司書の人員確保 学校や図書館に配置されている職員では対応できない専門職の司書の増員をお願いします。</p> <p>兼任や普通の市職員では無理のある啓もう活動等には専門職の配置が必要です。</p> <p>資料配布だけであれば必要ないかと思いますが、専門の知識、スキルを持った正規専門職の人からの啓もう活動が重要と思います。</p>	<p>・ (NO.6 の再掲) 正規職員だけでなく嘱託員等も含めた中で、今後も司書有資格者の適切な配置に努めてまいります。</p>
10	<p>・ 羽曳野市では、他市よりも早くから「ブックスタート事業」に取り組み、素敵なバッグとともに絵本を配布していたと聞いていますが、他市町村で「ブックスタート」の取り組みが広がってきた現在、逆に取組みをやめ、10年くらい実施していません。絵本リストなどの配布は続けておられますが、ブックスタートをしない理由はあるのでしょうか。</p>	<p>・ 平成13年より、「赤ちゃんに本を贈ろう基金」を財源として実施していましたが、その基金がなくなった時点で、絵本のプレゼント等を取りやめ、リスト等の配布のみとした経緯があります。</p>
<p>5P 第1部 第2章 4 ④ 「中・高校生の読書離れ」について</p>		
11	<p>ヤングアダルト層は読書離れが進んでいると言われていますが、ヤングアダルト層こそ悩み、考える世代です。本や仲間が支えとなるのですから、この世代の子どもたちが気楽に集まって語り合える場を提供する必要があります。</p> <p>図書館が身近になる企画をし、本の世界へと導くことは その子の将来を明るくすることでもあります。</p> <p>どうか、そんな企画力のある正規司書職員の増員をお願いします。</p>	<p>・ ヤングアダルト層（中高生等）の利用を進めていくことは、図書館にとっても大きな課題です。まずは図書館を利用していただくことを最優先にサービスを模索していきたいと考えています。</p>

第3次羽曳野市子ども読書活動推進計画（案）にかかるパブリックコメント結果

12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正規専門職の司書の人員確保 一番難しいと思いますが、専門職の司書の企画力に期待します。これを実現できるには、他市町村などへ訪問し、いろんな企画を専門職の司書が自分の目で体現できるような環境も必要と思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修については毎年、正規職員だけでなく、嘱託員等の非正規職員も必要に応じて受けています。他自治体の幅広い活動を見分することは自館のサービス改善などにも有効ですので、今後も幅広く実施していきます。
5P 第1部 第2章 4 ⑤ 「連携の強化と情報発信」について		
13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 強力なネットワーク 図書の検索や貸し出し予約等をスマホ等で出来ないのでしょうか？ 図書館に電話したり、行くことなく検索だけでもできないでしょうか？ ・ ホームページ（まさにこの意見募集方法の改良点） イ）このアンケート様式が PDF のみとなっています。通常であれば、この PDF をプリントアウトして、手書きで書く必要があります。更に、メールで送付するとなれば、プリンター等で PDF や写真データ等にして添付ファイルで送付する必要があります。PDF 以外にも word やエクセルなどの様式もつけてほしいと思います。 ロ）ホームページで意見募集していることの啓蒙活動がもっと必要です。ただ、ホームページにアップするだけでは、意見募集は極限られた人の意見しか集まりません。いろんな意見を出るのを拒んでいるようにも受け取れます。ポスター、ホームページだけではなく、市役所等の市の関係部署窓口での口頭でのお知らせ等ができないのでしょうか。一般の店舗等では、レジで勧誘等をやっていますよね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在も検索や予約について、携帯電話・スマホ・PCなどで可能ですのでご利用ください。また、延滞本がないなどの条件のもとでは、継続貸出等も可能となっていますのでご利用ください。 ・ ご指摘の書式については今後の改善点として検討します。 ・ 意見募集の周知についてはご指摘のとおりで、今後は周知方法の拡充について検討していきたいと思います。市役所の各窓口での口頭でのお知らせについては、パブリックコメントが限定された期間であることなど、実施には課題もありますので、ご意見として承っておきます。

第3次羽曳野市子ども読書活動推進計画（案）にかかるパブリックコメント結果

5P 第1部 第2章 4 ⑤「連携の強化と情報発信」 ⑥「活動を支えるボランティアの育成と支援」について	
14	<p>⑤⑥を実現するには、正規司書職員の配置しかありません。</p> <p>有能な嘱託職員さんがどんなに多くいてくださっても、手の出せない仕事領域が多いのではないのでしょうか。</p> <p>司令塔となる人・正規の司書職員さんがいなければ、せっかくの協力団体とのネットワークを生かすことができません。</p> <p>図書館は、市の全ての市民サービスの中心となるべき機関です。</p> <p>図書館の充実は、福祉、教育のみならず、地域のあらゆる生活課題への取り組みを可能にします。赤ちゃんから高齢者までが利用することができ、生活を豊かにすることのできる特別な機関です。</p> <p>どうか、早急に複数の正規司書職員の配置をしてください。</p> <p>羽曳野市は世界遺産と日本遺産のある街です。その文化をアピールできるようにするためにも、正規の司書職員の増員が不可欠だと思います。</p> <p>上記のように、今後の課題としてまとめてある6項目の全てを進展させるためには、今までよりも多くの正規の司書職員の配置こそ最善の策だと思います。</p> <p>それだけですべてが解決するわけではないとしても、それなくば解決しないことばかりではないのでしょうか。</p> <p>第3次読書推進の目標として、それぞれの項目に対して重点目標が掲げられていますが、これまでと大きな違いを見つけることができないばかりか、具体的な取り組み内容が分かりませんでした。</p>
	<p>・(NO.6の再掲) 正規職員だけでなく嘱託員等も含めた中で、今後も司書有資格者の適切な配置に努めてまいります。</p> <p>・第3次計画の目標がこれまでの計画とあまり変わらないとのご指摘ですが、残念ながら十分に到達できていない点があることも事実です。その点を考慮し内容が継続されているとご理解ください。</p> <p>・具体的な取り組みについては、計画に基づき毎年のサービス計画に盛り込む予定です。また、図書館協議会や子ども読書活動推進委員会においても報告していきたいと考えています。</p>

第3次羽曳野市子ども読書活動推進計画（案）にかかるパブリックコメント結果

5P 第1部 第2章 4 ⑥「活動を支えるボランティアの育成と支援」について		
15	<p>・企画が出来る専門職の正規司書職員の増員 ボランティア活動等をまとめる役割をする正規司書職員の増員が必要不可欠と思います。</p>	<p>・正規・非正規を問わず、ボランティアコーディネートの役割を持つ職員の育成は必要ですので、これからも充実を図っていきます。</p>
7P 第2部 第2章 2 「地域での読書活動の推進」について		
16	<p>白鳥児童館の「図書室」の本は、開館後ほぼ本の入換えが行われていないようです。「充実」と書かれていますが、買い換えを期待します。</p>	<p>・順次、本の入替えを実施し、充実するように努めていきます。</p>
7P 第2部 第2章 3 「図書館での読書活動の推進」について		
17	<p>これまで羽曳野市では、YA向けの資料はどのように収集されているのでしょうか？児童書と一般書のはざまにあるYA資料の収集方針について、具体的な計画案を作成いただきたいと思ます。</p>	<p>・「一般」「児童」などの区分をつけての収集はしておりません。したがってYA独自の収集方針についても現在はありませんが、要求の多いものを中心にかなり積極的に収集はしていると考えています。YA向け資料として配架などすることでの、中高生へのアピールなどは有効とは考えていますので、今後のサービス展開の中で検討したいと思ます。</p>
18	<p>中央図書館にも中・高校生が手に取りやすいようなYAコーナーを置いてほしいと思ます。</p> <p>また、職業体験で図書館の蔵書の多様性やしくみを知る中学生は一握りしかないと思ます。図書館の魅力を伝えて利用向上を図る（ひいては、読解力・学力の向上につながる、居場所の提供にもなる）には、ぜひ全中学校に学校司書を配置していただきたいと思ます。</p> <p>早急な司書配置が困難な場合は、まずは市立図書館から職員（司書）が出向いて、図書館の利用方法（インターネットなど）をアピールしたり、YA本のブックトーク等を行っていただくことはいかがでしょうか？</p>	<p>・YAコーナーについては上記（NO.17）のとおり。</p> <p>・（NO.2の再掲）ご指摘のとおり本市の小学校には、学校司書の配置を進めてまいりました。中学校においても学校図書館の活用は重要であり、今後もその活用を充実していきたいと考えております。そのため、中学校区ごとに学校司書と司書教諭や図書館担当教員間の連携を図り、子どもたちの学びが豊かなものとなるよう取り組んでまいります。</p> <p>・職員の派遣等については、学校図書館及び公共図書館のそれぞれの役割を果たすことを原則としながら、有効な支援の方法を検討してまいります。</p>

第3次羽曳野市子ども読書活動推進計画（案）にかかるパブリックコメント結果

8P 第2部 第2章 4 「学校・園での読書活動の推進」について		
19	<p>計画（案）に書かれていますように、「学校図書館がより魅力的な場所となるように」環境の整備に努めないといけないと思います。</p> <p>中学校では司書が配置されていないので、常時図書館を開けておくことは難しいとは思いますが、例えば、職員室前の廊下に書架を配し、今中学生に読んでほしい図書を選んで並べ、いつでも自由に手にできる環境を作ること中学生の読書離れに微力ですが効果があるのではと思います。</p>	<p>・より専門的な視点を持って、図書館教育を進められるように学校司書が配置されていない中学校については、校区内の小学校の司書が必要に応じて図書館活動を支援するなど、学校図書館の充実を図っていく予定です。</p>
20	<p>各小学校の学校司書の配置をはじめ、他市より取組みが進んでいますが、学級文庫の本は、かなり傷みが目立ち買い換えもあまり行われていないように見受けられます。本計画でもう少し踏み込んでいただけないでしょうか。</p>	<p>・子どもたちが常に学校図書館で、「新たな出会い」「新たな発見」が感じられる空間になるよう意識する中、蔵書の充実に努めています。</p> <p>現在、毎年学校図書館の蔵書購入の費用を確保し、交換の際に学校図書館にあった書物を学級文庫に移すという流れで、学校全体の蔵書の充実を進めています。</p> <p>今後も学校全体の蔵書を見て、子どもたちがよりよい読書活動が進められるように努めて参ります。</p>
9P 第2部 第3章 1 「推進体制の整備」 ①について		
21	<p>計画の進捗状況を検証する機関が、第2次計画では、図書館協議会と子ども読書活動推進委員会の2つとなっていましたが、第3次では推進委員会だけになっています。</p> <p>「子ども読書活動推進計画」の対象は、乳幼児から中高生です。第1次の計画策定時の委員会には、小中学校の代表者が入っていたのに、現行の委員会には入っていません。この状況で、重点事業②「中・高校生の利用促進」や⑤「学校・園の資料の充実」に具体的に取り組むためには、検証する機関だけでも、図書館協議会と推進</p>	<p>・第2期においては、検証の場として、子ども読書活動推進委員会の開催がほとんどなかったことから、今回役割を明確にし、子ども読書活動推進委員会を常設の機関としたものです。</p> <p>ご指摘の小中学校の代表については、今年度より「学校教育課」から委員が選出されており、学校・園との連携をはかるようにしております。また、図書館協議会の中でも計画について順次報告等も予定し、意見聴取等もする予定ですので、ご理解をお願いします。</p>

第3次羽曳野市子ども読書活動推進計画（案）にかかるパブリックコメント結果

	委員会の2機関によって、より広い視野で検証していただきたいと 思います。	
9P 第2部 第3章 1 推進体制の整備 ②について		
22	<p>子ども読書活動の推進には、市立図書館と、学校園や保健センター、多くのボランティア団体等との、多岐にわたる連携が欠かせないと思います。しかし、その連携を担う市立図書館の正職員が、羽曳野市の図書館業務活動報告書によると、4名しかいません。</p> <p>未来を担う子ども達の読書環境を向上させるため、計画の推進にあたっては、ぜひ、市立図書館について、専門的知識を持った正職員の人数を増やしてほしいと思います。</p>	・(NO.6の再掲) 正規職員だけでなく嘱託員等も含めた中で、今後も司書有資格者の適切な配置に努めてまいります
9P 第2部 第3章 2 ②「関係機関の連携の輪を広げます」について		
23	<p>読書活動の推進にあたって、既存の図書館だけでなく、まちライブラリーのような、私設の図書館・本棚も計画に入れていくべきではないか。</p> <p>子ども文庫のような活動は素晴らしいものだと思うが、共働き家庭が増えるなかで、その担い手を増やすことは容易ではない。飲食店を始め、お店の一角に絵本のコーナーが設けられているところは少ない。</p> <p>そういったところに絵本を貸し出すなどして循環させていくことで、子どもが多様な本に触れられる機会が増えるのではないだろうか。</p>	<p>・すでに、団体貸出制度として多くの団体にも利用していただいているところです。今後も読書に親しむ環境整備への取組みをすすめていきます。</p> <p>計画中の P9 第2部 第3章 2 ②関係機関の連携の輪を広げます の5つ目の項目として 「・まちライブラリーなど私設図書館等の活動への支援を実施します。」の項目を追加します。</p>

第3次羽曳野市子ども読書活動推進計画（案）にかかるパブリックコメント結果

24	<p>乳幼児健診等の際に、チラシや利用登録書類の配布に加えて、赤ちゃん絵本の読み聞かせは行われていますか？乳幼児がもれなく受診する機会に、図書館員等が実際に読み聞かせを行って、お母さんたちにも様々な絵本を紹介することが、図書館の利用向上につながると思います。</p> <p>その際に、担当員が不足する場合は、乳幼児や赤ちゃん絵本に関する講習を行って、乳幼児の絵本に詳しいボランティアを育成し、共に活動していただくようにすることも一つの方法かと思えます。</p>	<p>・残念ながら、乳幼児健診では健診内容により読み聞かせや絵本の紹介をする時間は取れていません。</p> <p>また、現状では図書館員が出向くことについては難しいと考えています。ボランティア等の育成については実施へのひとつのアイデアと考えます。今後の運営の参考にさせていただきます。</p> <p>なお、離乳食講習会や、ママとベビーの交流会（マタニティスクール OB 会）では保育士が読み聞かせと絵本の紹介を行なっています。</p>
全般について		
25	<p>とても詳しく書かれておりよくわかりますが、さらにテーマ（キャッチコピー）的なものがあるとよりわかりやすく目標にもしやすと思います（例「わくわく読書体験（ランド）」等々）。</p>	<p>・ご提案については副題等で何か表現できないか検討したいと思います。</p>
26	<p>第3次の計画案の文章を読んだだけでは、第2次と第3次は、数字の変更等があるほかは、ほぼ同じ内容のように感じられました。少子化による図書館の利用率への影響や、小学校への英語導入による児童書の多様化、携帯電話の利用の低年齢化等による子どもたちの嗜好の変化など、子どもの読書についての状況は、この数年で大きく変わってきているのではないかと思います。</p> <p>このような変化を、具体的に反映した計画案にして頂きたいと思えます。</p>	<p>・（NO. 14 の再掲）第3次計画の目標がこれまでの計画とあまり変わらないのご指摘ですが、残念ながら十分に到達できていない点があることも事実です。その点を考慮し内容が継続されているとご理解ください。</p>